

SOLAN IMPACT

ビオトーププロジェクト

【理想のビオトープに向かって】

今年度のプロジェクトでは、【「人間」「自然」「生き物」の3者にとってWin-Winとなるビオトープの実現】を目標として、グループに分かれて活動しています。

グループごとに課題を解決するために現地調査やインターネットから情報を集めたり、学年全体に改善案を提案して意見をもらうなど、一人ひとりが主体的に取り組んでいます。

「猛暑によって水位が下がってしまう…」という課題には、雨水を活用する方法について模索してみたり、「シートがむき出しになり、“自然らしさ”が失われている…」という課題には、シートを自然になじませる方法を考えています。

また、生き物を呼び込むためにビオトープの水質を改善しようとするチームでは、ろ過装置の見直しや、大量発生している藻の除去を今後どのように行なっていくかについてこれまでの学びをもとに検討しています。

子どもたち一人ひとりが自分たちで情報を集め、アイデアを出し合って考えました。そして、今週、それらの内容についてこれまでもお世話になっている志水さんに相談し、意見をいただく機会を設けました。



【専門家 志水さんから学んだ時間】

7月22日（火）、これまでもビオトープづくりを支援してくださっている志水さんにお越しいただき、子どもたちとの対話の時間をとりました。

活動する中で出てきた疑問や自分たちのアイディアを志水さんに聞いてもらい、「指標種を決めることで、どんなビオトープを目指すのかが明確になるのではないか」や、「課題解決のためには、瀬戸の地域に多くのヒントがあるのではないか」といった、子どもたちの学びを深めるための示唆に富んだ言葉をたくさんいただきました。

子どもたちは、志水さんの意見を受け、さらに深まるプロジェクトに向けて歩みを進めていくことでしょう。

5年生がつくるビオトープはまだまだ進化していきます。どんなビオトープができるか、楽しみでなりません。

